



御神船

「御神船」とは、伊達藩の時代、物資流通や大漁祈願の海渡りに活躍した船が称賛されて「御神船」と呼ばれるようになりました。

2024
(令和6年)
新春
特別号

不許複製：禁無断転載・引用 = 敬称略 =

仙台水産ホームページ www.sendaisuisan.co.jp

仙水グループ広報

各社長年頭所感

仙台水産

社長 本田 誠



新年明けましておめでとうございます。仙水グループ24社の皆様方には輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。本年度は、丸3年以上続いた新型コロナウイルス感染症も5月には5類感染症に移行し、徐々にはありますが感染前の平常時に戻りつつあります。しかし、温暖化の影響による大衆魚は記録的な不漁、単価高・取扱数量減少がグループ各社にも大きな影響を与えております。また、8月24日には福島原発からのアルプス処理水放出が実施され、水産物の風評被害が懸念されましたが、多くの小売店様のご支援や行政のご尽力で三陸・常磐キャンペーンを実施し、安全・安心をPRいたしました。残念ながら中国・香港の水産物輸入禁止措置は続いておりますが、マスクミへの露

出が増えたことにより、消費者の皆さんが国内水産物を応援、魚食への高まりに繋がりました。わが社グループは、お客様に喜んで頂くために自ら発信して「ここまでやるのか」「お客様に感動していただく」を実践してきました。今年も2024年問題、気候温暖化リスク、為替変動リスク、事業コストの上昇など、試練が予想されます。今までも諸先輩方が乗り越えてきたように、私たちも謙虚に驕らず、さらに誰にも負けない努力をして、未来を切り開いていきたいと思います。会社が「どの山に登るか」を決めて愚直に努力し、今日一日ベストを尽くせば明日が見える。今月一杯が精一杯に生きれば来年が見える。今年一杯、一生懸命生きれば来年の事が見えてきます。

おお客様、取引先、従業員、会社を取り巻く皆さんから喜んで頂けるような経営を「利他の心」「共生」という考えを取り入れ、グループの皆さんと一緒に実現していきたいと思っております。本年もよろしくお願い致します。

新年明けましておめでとうございます。昨年は温暖化による漁獲環境の変化、世界での紛争、アルプス処理水問題に円安・エネルギー高騰などグループを取り巻く環境は激変の一年でした。しかしこれまでに「平穏な一年」と言える年は記憶にありません。予期せぬ環境変化は当然だと思つて立ち向かい、どのような事が起ころうともグループ力を結集して乗り越えていきたいと思います。

新年にあたり「グループ各社にとつて最も大切なものは何か？」をじっくり考えてみました。お客様？荷主？商品？お金？：お客様に喜んでいただく利益をいただくのが仕事ならば日々お客様と取り組んでいる従業員こそが最も大切なのではないかと考えます。従業員の成長こそが会社の成長であり会社は従業員の努力で

成り立っています。先輩諸氏が築いてくれた会社の根幹であるお客様との繋がりをさらに強固にすること。新たなお客様との取り組み関係を創ること。お客様に喜んでいただく成功してもらったこそがグループの重要な仕事であり、その実現によって私達従業員の生活を豊かに、そして充実した人生を築いていけるようにすることが会社に課された使命だと思いです。変化対応には仙水グループ従業員の成長が欠かせません。「ここまでやってくれるのか！」と多くの皆さんから喜んでもらうために、自ら学習し、努力し、コミュニケーション力を高め、グループ力を結集して業績を上げ、楽しく仕事をしていきます。

今年2024年問題いわゆる物流改革元年になります。グループ各社も少なからず影響を受けます。ピンチはチャンスと受け止めて共に東北全域をマーケットとした新たなステージをつくる気概で仕事に取組み2024年を良い年にしていきましょう。

仙台商産

社長 石森 克文



新年明けましておめでとうございます。昨年は温暖化による漁獲環境の変化、世界での紛争、アルプス処理水問題に円安・エネルギー高騰などグループを取り巻く環境は激変の一年でした。しかしこれまでに「平穏な一年」と言える年は記憶にありません。予期せぬ環境変化は当然だと思つて立ち向かい、どのような事が起ころうともグループ力を結集して乗り越えていきたいと思います。

今年2024年問題いわゆる物流改革元年になります。グループ各社も少なからず影響を受けます。ピンチはチャンスと受け止めて共に東北全域をマーケットとした新たなステージをつくる気概で仕事に取組み2024年を良い年にしていきましょう。

仙水冷蔵

社長 伊藤 真



新年明けましておめでとうございます。仙水冷蔵は、引き続き人材育成に力を入れ、人身事故0の実現と、正確で迅速な入出庫による解凍事故や紛失等の物損事故撲滅、報告連絡相談の徹底を柱に効率の良い業務を行うことで業績の確保を実現します。引き続き、施設

の老朽化に伴う設備投資も積極的にまいります。仙台食品は、物流や買掛・売掛管理といったベンダーとしての責務を正確、確実に行うとともに、特に鮮魚についてはバイヤーの右腕となる存在になり売場作り、業績アップに貢献してまいります。また、店舗訪問の頻度を上げコミュニケーションを深めてお客様の困っていることの解決を実践します。グループ各社様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

仙台丸水配送

社長 鈴木 良徳



新年明けましておめでとうございます。昨年中はグループ各社の皆様に多大なご支援、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

ロシアとウクライナの紛争は終わりの兆しさえ見えず、今年10月にはイスラエルとイスラム組織ハマスの衝突が勃発して世界中が混乱しており、燃料価格の高騰は収まる気配がありません。そのような中、我が社は仙水グループの物流を担うとともに、毎日の点呼による基本行動に基づいた安全作業、事故防止を徹底してまいりました。今年はいよいよ物流の24年問題に突入しますが、従業員の勤務時間を改善し、法令に則した営業活動を実施してまいります。

今年もグループ各社の物流改善に貢献できるよう努力してまいります。

仙水センター

会長 熊谷 純智



新年あけましておめでとうございます。仙水グループの皆様には輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、エネルギーコストや諸経費の値上がりと人員確保のための労務費高騰等に対し、経営の合理化・省力化を図るとともに組織の統合や業務体制の合理化を講じてまいりました。お陰様で、社員の成長と共に一定の成果を得ることができました。ご協力いただいた全体的にお取引先様と従業員の皆さんに心より感謝申し上げます。

今年、食品センター事業の再構築とそのための人材育成に注力してまいります。グループ機能会社として仙水グループの経営戦略に貢献できるよう従業員一同努力してまいります。皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

イーネット

社長 佐藤 浩



新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、グループ各社の皆様には多大なご支援、ご協力を頂き深く感謝申し上げます。

昨年は、インボイス対応、グループLAN基盤更新、新規お取引様への生鮮WEBEDIシステム導入、及び3年かけてWEB方式にバイジョンアップした生鮮EOBシステムを稼働させ、より現場に効率的にお客様の変化に対応できる柔軟性を持ったシステムレベルアップを行いました。本年は、システム開発人材を充実強化し、グループLANのアップグレードを、未来志向で取り組めます。本年も、仙水グループの皆様にご支援を頂きながら、従業員一同、技術力を高め新しい価値を生み出す為に挑戦します。よろしくお願ひ申し上げます。

仙水デイリー

社長 松本文彦



新年明けましておめでとうございます。昨年は、海水温や気温の上昇により魚の不漁や野菜の不作と、今までにない環境変化になりました。新型コロナウイルスが5類に移行し飲食、宿泊客も戻ってきて4年ぶりに活気が戻ってきました。そんな中、仙水デイリー、栄進流通はグループ各社の皆様の多大なご支援、ご協力をいただき目標を達成することができました。心より感謝申し上げます。

今年も社会環境が大きく変化することが予測されます。世界情勢の変化、気温、水温の変化で油、原材料の品薄、高騰が続くと思われれます。これらの変化に対応すべく情報収集と商材の提供をお客様に提案して満足を実現します。全従業員、一致団結して良い会社づくりをしてまいります。

仙水フーズ

社長 三浦孝一郎



新年明けましておめでとうございます。引き続き、原料価格や製造コストが高騰し、厳しい経営環境が続いています。難しい状況ですが、お客様から「また食べた」と言っていただけ、品質本位の姿勢を忘れず、今年も前進してまいります。

近年、力を入れている、焼魚・漬魚の製造は順調です。更なる商品力強化のため、仙台水産様としっかり連携してまいります。今春には、ベトナムから技能実習生が2名、新たに加入します。生産能力も上がりますので、新しい仕事づくりに頑張っていきます。これからも、お客様に喜んでいただける製品作りを通して仙水グループ各社様に貢献できるよう、全社員一丸となって頑張ります。今年もよろしくお願ひします。

仙台鮪販売

社長 千賀 潤



新年明けましておめでとうございます。昨年はコロナ禍を克服しニューノーマルも一般化した日常生活となりました。世界情勢に翻弄される日本の経済状態によって不安定な経営となりましたが、新商品提案や食べ方提案等がお客様に支持され、売上向上につながりました。今年、定額減税等の税制改革や人手不足による流通への影響があります。懸念材料はありますが、「龍」のごとき情熱を持ち、自信をもって粘り強く、勇気をだして力強く、仙台水産営業部と共に攻めの商品提案や営業提案を決断と才知を持って行い、創業20年を迎える弊社の礎になれるよう、全社員一丸となってまい進いたします。「明るく元気に笑顔であいさつ」をモットーに、グループに貢献できるよう頑張ります。

今年もグループ各社の物流改善に貢献できるよう努力してまいります。

ダイスイ

社長 大森 圭



新年明けましておめでとうございます。昨年は夏場に海水温が異常に上昇する現象があり、浜では漁獲量の減少や死滅が多くみられました。当社の商材である活魚の管理には苦戦を強いられましたが「水産業は最高だ！」を合言葉に、役員一丸となって乗り越えてきました。そんな中、マダコの豊漁の年に当たり、加工用原料の供給が倍増、2年連続で操業以来の最高益を更新する見通しとなりました。これも全てグループ各社の皆様方の多大なるご支援とご協力のたまものと受け止めております。感謝申し上げます。昨年は二名の新入社員を迎え、にわかには社内が活気づきました。まだまだ未熟ではありますが、引き続き未来の水産業を背負う貴重な人材として、親切丁寧に指導していきたいと思っております。

桃浦かき生産者合同会社

代表社員 新田 拓哉



新年明けましておめでとうございます。昨年はグループ各社の皆様には多大なご支援、ご協力をいただき心より御礼と感謝を申し上げます。六次産業を生業としている弊社は、一難去つてまた一難ですが、海水温の異常な上昇やエルニーニョ現象により台風などの影響がなく、海がかき混ぜられないため、高水温が続いてしまい牡蠣が大量にへい死してしまうという養殖業には、天災級の被害になりました。それでも、グループの教えである「明るく元気」「ピンチをチャンスに」の精神でこの難局を乗り越えてまいります。今春、水産高校から入社予定の一名が新たに仲間に加わり、これで若手が3人となります。若手を育てながら、今年も社員一同、明るく楽しく仕事にまい進してまいります。

中央水産花巻

社長 坂井 義昌



新年明けましておめでとうございます。昨年は度重なる物価やエネルギー費の高騰、主力鮮魚品の不漁など、様々な要因で圧迫された年でしたが、仙水グループ各社の皆様に支えられ、なんとか乗り切ることができました。心より感謝申し上げます。弊社では水産加工機能を充実させるため、1月から補助金を活用して現在の加工場の改築を行う予定となっております。岩手県内の量販店などでも働き手不足が問題化されていますので、加工場の機能を活用して、量販店のバックヤードの作業軽減のお手伝いを行いニーズに添えて参ります。また、EC事業向けの製造にも取組み、加工場をフル稼働できるように努力致しますので、今年も皆様の指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

秋田丸魚

社長 菅原 正隆



新年明けましておめでとうございます。昨年は仙水グループ各社の皆様には大変お世話になりました。昨年10月、当社社長として赴任し、改めて経営方針の「お客様に限りなく近づく」を実践するため、社員の意識改革に取り組み始めたところです。会社が一丸となって動くように社内の組織改革を行い、方針の共有化を目的に事務所のコンパクト化を進めました。道半ばですが、日々のあいさつを含めて、一部お客様から「秋田丸魚も変わってきた」との声もいただきました。今年も、もっとお客様へ近づく活動を、一つひとつ実践していきたいと考えています。グループ各社の皆様の更なるご指導のほど、よろしくお願ひ申し上げます。社員一同、笑顔で頑張ります。

STC

社長 千葉 祐之



新年明けましておめでとうございます。日本の食料品輸出額は2022年が1.4兆円。2023年も5%程度増加見込みです。一方、水産物の輸出は8月24日の処理水放出に伴う、中国、香港の輸入制限発令の影響で、全体では微増にとどまっています。そんな中、我が社は水産物を中心にWEB商談や海外バイヤー招聘を活用し、着実に得意先を増やしてきました。今年も、有望な海外得意先に対して更にコミュニケーションを深め、納品アイテムの増加と取り扱い金額の伸長を目指します。また、引き続き宮城県との連携を継続し、県産食材の輸出支援業務も積極的に行います。昨年の「梨」に続き、今年も「イチゴ」「あんぽ柿」の商談も進めており成果に繋げる予定です。よろしくお願ひします。

仙台宮水

社長 鈴木 雄一



新年明けましておめでとうございます。昨年は仙台水産はじめグループ各社の皆様にはご支援、ご協力をいただきありがとうございます。今年も社会変化が目まぐるしくなると思っております。スピード感を持って変化に対応し、社員全員で「お客様第一」でお客様に寄り添います。お客様に良い結果を出して喜んでいただくことを新たに付け加え、知恵を出して常にお客様のためにできること、困っていることとの解決を最優先に行動します。本年も常に基本を忘れず「ワンチーム」になり、一致団結し数値目標を達成します。大平水産は、太物課・近海特種課・冷凍課ともに仙台水産と連携し、小売店様、業務関係様に「お客様第一」で一致団結して頑張ります。

鈴木水産

社長 山口 清一



新年あけましておめでとうございます。昨年、売場で定期的な販促提案を実施していただいたことが、店舗販促の働きかけや関係強化に大いに役立ちお客様との接点を増やすことができました。

今年は、より積極的に商品提案や販売支援を行い信頼関係の強化を図ります。また、加工場を本格稼働させ、お客様の多くが抱えている人員不足や労務管理に対応すべく役立つ商品づくりを実現します。社内では、働きやすい職場作りの一環として、有給休暇の計画的取得と時間単位の付与を推進していきます。管理部門の業務共有と省力化にも取り組み、経営効率を高めていきます。

今年度は、さらに市場再整備計画に合わせ将来のあるべき姿について、より現実的な検討を行っていきます。

東海

社長 松尾 直樹



新年明けましておめでとうございます。昨年は、仙台水産はじめ仙水グループの皆様には多大なるご支援、ご協力をいただきありがとうございます。

昨年はようやくコロナウィルス感染症が5類に移行され、行動制限が緩和、経済活動が再開された年となりました。新年度はこのような変化に対応し、昨年同様、お客様一人ひとりに誠実、丁寧に向き合います。

人材育成、特に若手社員の教育に力を入れてレベルアップを図り、営業力を強化します。仕事にやりがいを持ち、会社を好きになれば自ずと業績は上がります。経営理念に基づき全社員が一丸となって目標達成に向けまい進してまいります。

本年もどうぞよろしく、お願い申し上げます。

松洋水産

社長 奥津 淳一



新年明けましておめでとうございます。昨年はパレスチナ戦争、物価高、光熱費の高騰、温暖化による主力鮮魚品の不漁など、様々な要因が重なりましたが、グループ会社様のご支援により乗り切ることができました。心より感謝申し上げます。

今年度は、情報収集や営業力の質を向上させお客様により近づき「お客様第一主義」「現場主義」「人材育成」を柱に、環境の変化にも迅速に対応できる体質を築き、社内改革にも積極的に取り組んでいきたいと思っております。

お客様とともに社員一人ひとりが成長し、信頼される会社であり続け「豊かな食を創造し地域社会に貢献する」を役員一同、心に刻み、精一杯数値目標の達成に努力してまいります。よろしく、お願いいたします。

門間水産

社長 曾我 佳充



新年明けましておめでとうございます。昨年は、仙台水産はじめグループ各社の皆様からご支援、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

昨年はコロナ禍が収束に向かい経済活動の正常化が進み、景況感改善しつつもコロナ前の水準にはまだまだという厳しい一年になりました。

本年は2024年問題への対応が求められるため、物流及び製造において余裕を持った仕事づくりに取り組みます。マネキン（試食）販売等の提案を積極的に行い、門間水産の強みである低コスト・高品質に特化した商品を広げていきたいと思っております。業界を取り巻く環境の変化に迅速に対応し、お客様に喜んでいただける信用・信頼を得られるよう努力してまいります。社員一丸となって明るく元気に頑張ります。

東北鈴木水産

社長 寺島 英行



新年明けましておめでとうございます。仙台水産はじめグループ各社の皆様を支えられまして、新しい年を迎えることができました。昨年来コロナ化は落ち着きましたが、物価高やエネルギー高騰による経費の増加、更には入荷魚種の変化や漁獲量の減少など、増々魚離れに拍車をかける事態となってきました。

変化が激しい時代が続きますが、我々市場人は需要があるところへお魚を届けることが仕事だと考えます。初心に帰って社員一人ひとりがお客様に誠心誠意向き合って仕事をを行い、より真剣に取り組んでまいります。市場に活気が戻ることを期待しまして、今年度はグループ各社様、天昇辰の如く素晴らしい年になりますように願っております。本年もどうぞよろしく、お願いいたします。

丸正水産

社長 齋藤 和幸



新年明けましておめでとうございます。昨年は仙台水産はじめグループ各社の皆様には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

今年度は、更なる発展と向上を目標にし、困難に立ち向かっていく覚悟を新たにしました。第一に、お客様へのサービス向上を重要視し、より新鮮でおいしい魚を提供できるように努力してまいります。お客様の笑顔が私たちの原動力です。仲間たちと協力し合い、市場全体の活気と発展に貢献していきたいと考えています。連携強化や情報共有を通じて、市場を、一層魅力的な場所にしていくことが目標です。皆様とともに成長し、お互いが支え合いともに喜びを分かち合える、素晴らしい年になることを願っております。本年もどうぞよろしく、お願いいたします。